



人と地域がつながるベストな場所が北海道にはある つながる。HUBest

「つながる。ハーベスト」とは？
「新しい働き方」として注目されているワーケーション。その魅力のひとつでもある、人と地域とのつながりを通じて新たな活動を生み出すことができるワーク施設と、そこでの出会いを創り出すコンシエルジュをインタビュー形式で紹介します。

第一弾 札幌市

コワーキングカフェ&バー 大人座
五十嵐 慎一郎さん
(株式会社大人 代表取締役社長)



んなことやろうよ」とどんどん新たなプロジェクトやビジネスが生まれていっています。地元の札幌でそういった化学反応を起こしている場所はとても少ない気がして。地元につくりたいな、つくっちゃおうと(笑)

——フットワークの軽さですね。

「コワーキングスペース」というと行きづらいついとか、名前を知らない人も多いですし、行っていないのかな？となる人もいると思うので、難しい場所じゃなくて、「大人座」っていう面白そうなカフェバーがあるから行ってみようとなる場をつくろうという気持ちでやっていますね。

地域と「つながる。」

——大人座を通じた人と人とのつながりで新しい取組が生まれたなど、そういったエピソードをお聞かせ下さい。

今座っているカウンターの席で生まれたのが「あしたのしあたま」というプロジェクトです。コロナ禍で色んなイベントが中止になる中で、それでも皆で楽しめることをやりたいいなと飲みながら話していた、その時のアイデアの一つが、

——まずは、「大人座」の「コンセプト」についてお聞きしたいのですが。

「様々な出会いが生まれるカオスな秘密基地」ですかね。以前、東京で「the e SNACK」というコワーキングスペースを運営していました。起業家やクリエイターなど様々な人が出入りして「こ



(大人座HP) www.otonaza.com

「ドライブインシアター」でした。その場で、「いいね、それやろうよ！」と地図サイトで大きな駐車場と白い壁がある場所を探すというスタートでした(笑)
その後、映画関係者はじめ賛同してくれる仲間も増えて、道内6箇所ドライブインシアターを開催しました。また、ラジオ電波で音楽を配信して、皆がイヤホンで聴きながら楽しむ「世界一静かなフェス」等の企画は、ここで飲みながら話していたのが形になったものです。

——「コワーキングスペースならではの、「地域とつながる」エピソードについても教えてください。

大人座は「ほっとけないどう」というプロジェクトの拠点になっています。サッポロビール社の全面支援のもと、北海道で新たなチャレンジをする人のプレゼンイベントを定期開催しています。大人座やオンラインで購入したドリンクの売上の一部が、登壇者に寄付される「カンパイ★ファンディング」という仕組みになっています。大人座で飲めば飲むほど、北海道の応援になっちゃうんです。

——道外や札幌市外から来られる人に向けてメッセージをお願いします。

この数年で札幌も北海道もめちゃめちゃ動きが加速していると思うんですね。若い新しいプレイヤーが続々できていますし、そのプレイヤー同士がこの数年でかなりつながったと思います。道外から遊びにくる人がいらつしゃれば、是非色んな地域でチャレンジしている人たちと会ってもらいたいのですし、こんな面白い人が地域にいるんだと知ってもらえると、北海道をより楽しめると思うので、是非単なる観光じゃない、もう一歩踏み込んだ北海道滞在をしてもらえると嬉しいです。



第二弾 厚真町

コミュニティスペースイチカラ

成田 智哉さん

(マドラー株式会社代表)



イチカラが出来るまで

—どの様な経緯で「イチカラ」を
くることになったのか教えて下さい。

高校までは北海道にいて、大学で東京
出て、その後トヨタ自動車に就職しまし
た。ブラジル駐在もさせていただき楽し
かったのですが、30歳の誕生日を機に独
立しようと思い、何も決めないまま辞め
ちやいました。ちょうど北海道胆振東部
地震が発生した時期で、私自身も大都市
よりも田舎で起業した方が面白いんじや
ないかと考えていた時に、「厚真町ロー
カルベンチャースクール」※を紹介した
だき、地元（千歳市）の隣町で、地域の
方々が震災もあつたけど頑張ろうとして

いるし、前向きな行政の方もいるから
厚真町で起業しようと思った。

※町が起業など新しい価値創造にチャレンジする
人を発掘・支援・育成するプログラム

—人のつながりを生かして、地域の
課題を解決されたいという思いでイチ
カラをつくられたのでしょうか？

厚真に来るか決まっていけないタイミ
ングで、役場の方から、震災で皆の心
の安住の場もなくなつたので、皆が集
まれる基地みたいな場所が欲しいとい
う話をいただき、自分自身全国各地で
コミュニティのハブとなる施設やコ
ワーキングスペース等をよく活用して
いたので、厚真にもそういう場所が必
要だと思いました。

この物件も、町の二丁目一番地で、
いわば厚真のスクランブル交差点みた
いな場所なんです。10年以上シヤッ
ターが下りていたので、ここが開くと
と自体が復興につながり、地域を元気づ
けられるだろうと考えました。

地域と「つながる。」

—イチカラで人と関わるときに、大切
にされていることなどはありますか？

ここは、町内のおじいちゃんやおばあ
ちゃん、ボランティア活動の帰りに
寄ってくれたり、毎週水曜日の夜は「中
学生の日」ということで、中学生が勉強
したり、漫画を読んだりしています。

一方で、札幌や東京から来られる方も
結構います。イチカラを運営する私の

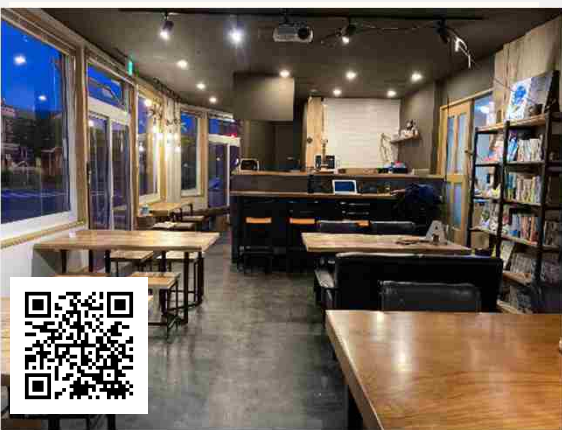
会社「マドラー（株）」にはそついった
様々な方をかき混ぜるという意味があつて
普段出会わない方達の接点となればと思つ
ています。

—イチカラで生まれた人同士のつなが
りのエピソードがあれば教えて下さい。

今はコロナの影響で出来ていないです
が、70〜80歳のおじいちゃんが肺活量を
増やすために「ウエルネス吹き矢」をや
りたいと言つて、ダーツバーを真似て
「吹き矢バー」をやるうとしていました
(笑) やりたいものを持ち寄つてくれる
ので、皆で一緒にやつたりしています。

強みは「解像度」

「マドラー」の強みは、大企業とか都会
のこと、テクノロジーも理解しつつ、都会
の人たちが思いもよらないことを目の前で
見ている「解像度」です。



(イチカラ) atsumaichikara.mystrikingly.com

東京から見る景色とこちらで見る景
色にはズレがあるので。こちらが解像
度を高くやっているからこそ見えてい
る景色を提供してあげられるし、それ
が制度に生かされるかもしれない。だ
から、中央省庁や大企業、ベンチャー
企業の方達も興味を持ってきてもらい、
教育や福祉とかのリアルティを感じて
もらえるといいなと思います。

このインタビュー記事は、誌面の都
合により抜粋版を掲載しています。

インタビュー全文については、北海
道公式HPにて公開していますので、
是非ご覧ください。



インタビュー
全文はHP
をCheck!



該当する施設を
月1回程度、
HPで紹介！

「つながる。ハーベスト」対象施設

- テレワークができる施設
- 地域を知るコンシェルジュがいる施設
- 誰もが気軽に利用できる施設
- 地域住民も利用している施設

創る

環境に
観光に
健康に

もっと、
自転車
北海道。

「もっと、自転車北海道。」
公式Instagramをフォローして、



みんなで、北海道での
自転車利用の魅力を発信しよう！

#もっと自転車北海道



令和4年3月発行
発行：北海道総合政策部地域創生局地域戦略課
電話(直通)：011-206-7298



Environment

地球に優しい
クリーンな乗り物/



環境に



自転車は、他の交通手段と比べても地球温暖化の原因となるCO2などの排出物を出さない、地球に優しいエコでクリーンな乗り物。
通勤、通学、買い物に使って、環境に◎(マル)！

Tourism

世界が注目の
サイクリング環境/



観光に

冷涼な気候、豊かな自然、広い道路などなど、北海道の魅力は世界も注目。あなたもそんな北海道を自転車で楽しんでみませんか？きっと新しい発見があるはず！観光に◎(マル)！

Health

カラダにやさしい
有酸素運動/



健康に

何か健康のために始めたい…でも何を始めたらいいかわからない…自転車はそんなあなたの味方です！足腰への負担が少なく、しかも有酸素運動。カラダにやさしい効果抜群の自転車で健康に◎(マル)！

自転車・自動車がお互いを思いやる環境づくりを進める
「フレンドリーロード北海道」

フレンドリーロード北海道

検索



Friendly Road
Hokkaido
もっと、自転車北海道。



「創る」バックナンバーは、「ほっかいどう応援団会議ポータルサイト」へ

QRコード読取で
バックナンバーへ

ほっかいどう応援団会議

検索

URL : <https://hkd-ouendankaigi.jp/info/tukuru.html>